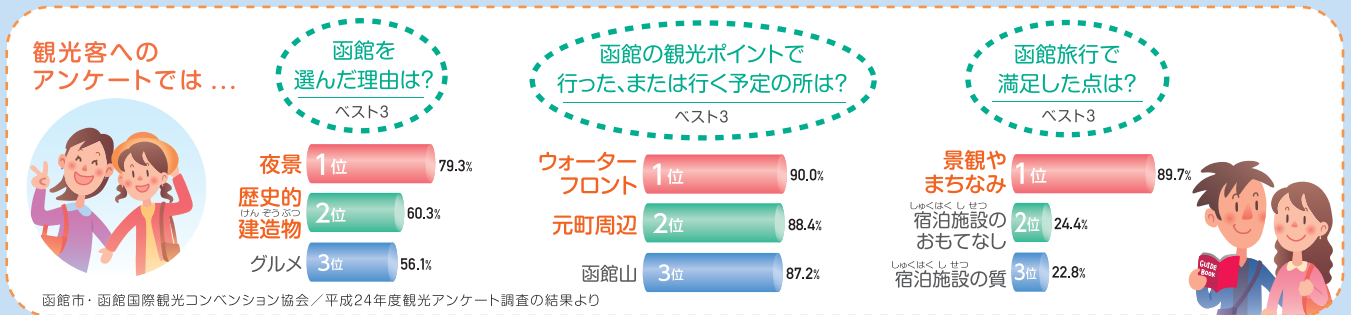


はこだての
景観



はじめに

函館は、日本全国の中で、とても有名で人気のあるまちです。
なんと毎年400～450万人以上の観光客が、函館を訪れています。



アンケート結果から、全国から来る観光客の多くは
函館の「景観やまちなみ」に魅力を感じていることがわかります。

景観とは

みなさんの住んでいるまちをよく見てみると、山や海という自然の景色や、家やビルなどの建物、お店の看板など、いろいろなものがいっしょに見えています。このように、目に入るすべての様子をまとめて「景観」といいます。

函館の魅力的な「景観」ってなんだろう？



これから、函館の景観の特徴とその魅力について、
みんなで考えてみましょう！

1

函館って、こんなまち!

ぼくたち、わたしたちが住んでいる函館は、実はとてもめずらしい地形をしているんだ。
 そして、開港によりいち早く開かれた西部地区は、今でも歴史あるまちなみが残っていて、函館の景観の特徴のひとつになっているんだ。
 そのまちなみは、多くの人たちの愛情と努力によって、今に受け継がれているんだ。

こんなおもしろい特徴があるんだね!



1 独特の地形

かつて孤立した島だった函館山は、長い年月をかけて砂などが積み重なり、やがて陸とつながりました。そして、函館山のふもとから扇形に陸地が広がり、3方向を海に囲まれた独特の地形ができました。こうして陸とつながった島のことを陸繋島といいます。

「陸繋島」のなりたち



2 歴史・文化



1859(安政6)年、函館は横浜、長崎とともにいち早く外国と交流をはじめ、現在の元町地区に教会や領事館などが数多く建てられました。写真:ペリー提督の像



明治時代には、数回の大きな火災でまちの多くを焼失しましたが、その後、道の幅を広くするなど、防火に役立つ道路づくりが進められました。



大火後、まちを復興する時には、外国の洋式を取り入れた建物が多く建てられたり、レンガやコンクリートなど火災に強い材料も使われるようになりました。

3 愛情・誇り



景観は、大事にしないと、こわれて、魅力がなくなっていきます。地域に住む人々だけではなく、市民みんなが、愛情と誇りを持って函館の魅力ある景観を守るために努力をしています。



函館の魅力ある景観を守るために、市民みんなでお知恵を出し合って、約束事を決めています。



函館の景観を守るために頑張っている人たちやその活動を、市民みんなでお応援しています。



函館の魅力ある景観は
市民みんなでお守っているんだね!

西部地区のまちなみマップ 歴史的な建物がずらり!

函館山の山ろくの地域(西部地区)は、開港とともにいち早く開かれた地域で、歴史ある貴重な建物がたくさん残っているところなんだ。

扇(おうぎ)のような形にまちが広がっている独特(どくとく)の地形。(函館山山頂(さんちよう)からのながめ)



「大三坂(だいさんざか)」は、両側に教会や寺院(じゆん)があり、石畳(いしだみ)と街路樹(がいろじゆ)が美しい坂道。



「八幡坂(はちまんざか)」は、港(みなと)でまっすぐに延向(の)びて港(みなと)の風景(ふうけい)やその向(むか)いのま(ま)ちや山(やま)な(な)みも見渡(みわた)せる坂道。



紅葉(こうよう)が美しいナナカマド(ななかまど)の街路樹(がいろじゆ)が、季節(きせう)ごとに違(ちが)う印象(いんげん)を与(あた)える「常盤坂(とこわかざか)」。



「幸坂(さいわいざか)」は、山上(やまの上)から港(みなと)までまっすぐ延(の)びて、海(うみ)につな(つな)がっている函館(はこだて)で一番(いちばん)長い坂道。



この位置(このち)から函館山(はこだて)の方向(かた)を見てみると

都市景観形成地域(しよんけい) 伝統的建造物群保存地区(でんとうてきせうぶつぐんほぞん)

都市景観形成地域

函館の歴史と文化が特に感じられる地域を「都市景観形成地域」に指定して、歴史的な建物とともに地域の魅力的な景観を市民みんなですべて守っています。
〈景観形成指定建築物等〉
この地域の中で、歴史的な建物などを「景観形成指定建築物等」に指定しています。(マップの中の青い字で書かれた建物)

伝統的建造物群保存地区

都市景観形成地域の中で、特に歴史的に貴重な建物などが数多く集まって、その建物と周囲のまちなみを保存していく地区を「伝統的建造物群保存地区」に指定して、市民みんなですべて守っています。
〈伝統的建造物〉
この地区の中で、特に歴史的に貴重な建物などを「伝統的建造物」に指定しています。(マップの中の赤い字で書かれた建物)

× M (気づいたことを書いてみよう)



3

歴史的な建物を調べてみよう!

函館は、日本で初めて貿易港として開港し、いろいろな国の文化が入ってきたので、もともとある日本の様式の建物のほかに、外国の様式の建物や、日本の様式と外国の様式が混ざった建物があるんだ。また、明治から昭和のはじめまで大火が多かったので、火災に強い建物も建てられるようになって、それらが大切に守られ、今もこのまちに残っているんだ。



歴史的な建物って
みりよくてき
魅力的だね!

和風様式の建物

日本に昔からある和風の建物です。外国の文化を積極的に取り入れた函館には、和風の建物はあまり多く残っていないので、とても貴重です。

この壁(かべ)は、和風の建物の特徴(とくちょう)のひとつで、手間をかけてつくってるんだって。



磯田家住宅(いそだけじゅうたく)



窓(まど)の格子(こうし)がとてもすてきなデザインだね。

門前家住宅(もんまえけじゅうたく)

洋風様式の建物

外国文化をいち早く取り入れた函館では、多くの洋風の建物が建てられました。洋風の建物や教会などが、まちの中に数多く残っていて、「まるで外国にいるような気分」になります。

柱の上にきれいな飾(かざり)があるよ。



旧北海道庁函館支庁庁舎(きゅうほっかいどうちようはこだてしちようちようしゃ)



丸い形のアーチがおしゃれだね。

太刀川家洋館(たちかわけようかん)

和風と洋風が混ざった様式の建物

1階が和風、2階が洋風という、函館に多く見られる特徴ある建物です。1階と2階の間にあるひさし(注1)や胴じゃばら(注2)は、和風と洋風を調和させる役割もあります。

1階が横長の窓(まど)
2階が縦(たて)長の窓(まど)になっているね。



小森家住宅店舗(こもりけじゅうたくてんぽ)



2階の窓(まど)の縁取(ふちどり)がすてきだね。

胴(どう)じゃばら

山内家住宅(やまうちけじゅうたく)

※注1 ひさしとは、玄関や窓などの上に付けられた小さな屋根のこと。※注2 胴じゃばらとは、1階と2階を区切る飾りのこと。

火災に強い建物

函館は大火が多かったので、火災に強い材料のレンガやコンクリートを使った建物が多く建てられました。

この壁(かべ)はレンガでできているんだ



市立博物館郷土資料館(しりつはくぶつかんきょうどしりょうかん)



日本で初めてコンクリートで建てられたお寺なんだ

東本願寺函館別院(ひがしほんがんじはこだてべついん)



いろいろな建物があつて
まちを歩いてみたくなるね!

4

こんな魅力もあるんだよ!

函館の景観は、歴史的な建物とともに、函館山、海、坂道、扇のような形に広がる独特の地形、昔の面影が残る港の風景、人々の生活の風景がみんな調和していて、それらがいっしょに見えるから、魅力的なんだ。

坂道の景観

坂の上から見下ろすと、海や港の風景が見えたり、(坂の上からの景観)、坂の下から見上げると、坂に沿って段々に重なって見える建物や、そのむこうに函館山の緑が見えて(坂の下からの景観)、函館の坂道独特の景観が広がっています。



坂の上からの景観



坂の下からの景観

いろいろな方向から見るとおもしろいね!



水辺の景観

港のすぐそばには、レンガ造りの倉庫や商店などが残っていて、海といっしょにそれらの建物が見えること(波止場景観)や、船が入るために造られた水路とその周囲の建物がいっしょに見えること(堀割景観)が、昔の面影が残る港の風景として、函館の景観の特徴のひとつになっています。



波止場の景観



堀割の景観

遠くからの景観

函館山の山頂からは、まっすぐに延びる坂や、港の広がり、その向こうの山なみが見えること(函館山山頂からの景観)や、海からは、函館山に沿って、まちなみが段々に見えること(海からの景観)が、遠くからのながめとして、函館の景観の特徴のひとつになっています。



函館山山頂からの景観



海からの景観



坂道や港の風景があるから
こんなに魅力的なんだね!

みりよくてき

魅力的な景観を守っていくために大切なこと

都市景観形成地域ちいきでは、魅力的な景観みりよくてきをこれからもずっと守っていくために、建物を建てたり、直したりするときや、看板かんばんを取り付けたりするとき、みんなくふうでいろいろ工夫しながら、ルールを守っているんだ。



みんながルールを守らないと 魅力的な景観みりよくてきがこわれてしまうんだね!

みんなで
考えよう!

函館の魅力的な景観みりよくてきを守るために、
わたしたちができることを話し合ってみましょう。



いろいろな 活動を調べる。

まちの景観を守る活動について、どんな活動があるかもっと調べてみる。
清掃せいそうの活動などに参加してみる。



自然環境かんきようを 守る。

自然も景観の一部だから、
えだえだ枝を折ったり、しばふしばふ芝生に入ったりし
ない。



まちを 汚さない。

まちを汚よごすことは絶対ぜったいにし
ない。落書きや、ゴミのポイ捨す
てはしない。



ペットの散歩に 気をつける。

ペットをつれているときは、しばふしばふ芝生
にはなして遊ばせない。フンをき
ちんと処理しゆりする。

小学校

年

組

名前



何か質問しつもんがあったらここに連絡れんらくしてね。

函館市都市建設部まちづくり景観課

〒040-8666 函館市東雲町4番13号

TEL 0138-21-3388 FAX 0138-27-3778

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/soshiki/toshiken/>